

升谷前町長退任のあいさつ

町民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私は、2月8日の任期満了をもちまして、3期12年にわたる西ノ島町長の職を退任いたしました。

平成23年2月に西ノ島町長に就任し、町民の皆様から公私ともに格別のご支援・ご厚情を賜り、職責を果たすことができましたことに對し、心から厚く御礼を申し上げます。

私は、「公平と誠実」を信条とし、町民の皆様方との対話を大切にしながら「夢と笑顔のあふれるまちづくり」を目指し、人口減少問題を喫緊の課題として、「地域産業の活性化」「保健・医療・福祉の充実」「教育の充実」「光ファイバー網の整備」「計画的な財政運営」の5つの政策を柱に、様々な施策に全力で取り組んでまいりました。

おかげさまで、多くの皆様のご協力により、各種事業を着実に進めることができたと思っております。

中でも、長年の懸案事項であった役場新庁舎の新築移転が完了したこと、構想段階から賛否両論あった西ノ島コミュニティ図書館「いしかあ屋」が、子供の読書の意欲を高める活動において優れた実践を行っている図書館を顕彰する「令和4年度子どもの読書活動優

秀図書館文部科学大臣表彰」を受賞するなど、今では多くの人が集う憩いの場・交流の場となっていることなどが最も印象的な事柄でした。

退任後は、一町民として西ノ島町の限らない発展を、かげながら応援してまいりたいと考えております。

終わりになりますが、町民の皆様の方々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。

升谷 健



職員に見送られ庁舎を後にする升谷前町長

濱田前副町長退任のあいさつ



濱田 明博 前副町長

このたび、令和5年2月17日の任期満了をもちまして、副町長の職を退任いたしました。

昭和53年に西ノ島町に奉職以来、企画財政、産業、福祉など様々な業務に従事し、平成23年からは副町長に就任させていただきました。

この間、職員として33年、副町長として12年の45年間にわたり町民の皆様をはじめ、関係各位の温かいご理解とご協力を賜り、まちづくりに従事できましたことに心より感謝を申し上げます。

今後は、一町民としてまちづくりに微力ながらお役に立てればと思っております。

最後に、西ノ島町の益々の発展と、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

長い間ありがとうございました。

濱田 明博

扇谷前教育長退任のあいさつ



扇谷 就二 前教育長

約6年半の任期となりましたが、長いようで短い6年半でした。

前半の3年はコミュニティ図書館の建設と小中一貫教育をスタートさせたことが印象に残っております。そして、後半の3年間は、コロナ対応に振り回されて思うように動けず、残念な3年間となりました。

これからは、新たな体制で、西ノ島が発展していくことを願っています。

私も陰ながらの応援と、町のためにできることがありましたらお手伝いをしていきたいと思っています。

任期中は町民のみならず温かいご支援もあり、何とか無事に勤め上げることができました。

ありがとうございました。

扇谷 就二



おめでとうございます!!
松新俊典さん
指導員ゴールド褒賞受賞

西ノ島町B & G海洋センターで指導員を務める松新俊典さんが、B & G財団より指導員の最高位であるゴールド褒章を受賞されました。

B & G財団の指導員褒賞は、海洋センターの運営や活性化に顕著な功績があったものとして、B & G財団などの推薦に基づき決定されるものです。

松新さんは、36年の指導員歴のほか、児童の海洋スポーツを通じた育成はもとより、姉妹町との交流や全国からの修学旅行生の受け入れにも中心的役割を担うなど、町の教育・観光振興など多方面で活躍されてきました。

町民の皆様にも、子供のころから松新さんのご指導のもと海洋スポーツに親しんできた方も多いことと思います。

この度の受賞を心よりお慶び申し上げます。



▲2月3日にB&G全国指導者会記念総会で行われた受賞式の様子。褒賞を受ける松新俊典さん（右）。



▲升谷町長に受賞のご報告を頂きました。

3年ぶり！ 第41回 江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室開催

1月18日～20日の3日間、3年ぶりとなる江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室が開催されました。西ノ島小学校5・6年生33名、奥大山江府学園26名の計59名が参加しました。

1日目は、奥大山江府学園日野川校舎（旧江府中学校）での、歓迎式、交流会でした。交流会は江府学園の児童が企画・進行しました。西ノ島小の児童は初めから積極的に江府町児童と関わり、短い時間ながらも楽しいひと時となりました。

2日目は、スキー教室でした。江府町のスキーインストラクター、江府学園教員、江府町教育委員会の職員、約20名が指導してくれました。初めは、上手く滑れず、転んだり、しりもちをついたりしていた西ノ島の児童でしたが、時間とともにぐんぐん上達し、気持ちよさそうに滑走する姿が見られました。お互いの仲もさらに深まったようで、別れを惜しむ児童の姿もありました。この2年間オンラインでの交流は行っていましたが、実際の交流の効果を感じる一場面となりました。

3日目は、西ノ島町の児童のみでスキー教室を行って、帰島しました。児童は、精一杯スキー教室を楽しみました。今後も両町の交流を深め、様々な体験活動を通して児童の成長を促進していきたいと思います。

